

長野県独自の信州型自然保育

(信州やまほいく)に取り組んでいます

午前中はすべての園で、野外活動を中心とした、豊かな自然を活用した保育をしています



雨の日でも外散歩します

(カエルやカタツムリを発見)





カタツムリ3匹とってきたよ！

山だつて、保育園

この保育園では毎週2～3回山を登ります（保育園から徒歩10分）
近くに山が無い保育園は近くの田畑、小川へ出かけます



安全に配慮して保育を行っています

まとめ

保育所における居室等の面積基準は

保育の質を考えると非常に重要 ですが

1. 保育士の充実や居室の面積の補完など創意工夫することにより保育の質の低下は避けられます。
2. 居室だけでなく、「信州やまほいく」の実践など屋外活動を積極的に行っています。全国統一の従うべき基準は本来に児童や保護者の福祉にかなっているのでしょうか。
3. 働く保護者、特に女性が継続的に働き続けられる社会を目指すためには、市町村が責任を持って待機児童を発生させないことが重要と考えます。